



演題

食品安全委員会について

～概要、新しいリスク評価手法、研究事業～



※左より 1) ～ 3)

講師

中山 智紀 1)
入江 芙美 2)
窪崎 敦隆 3)

内閣府食品安全委員会事務局 評価第一課

ご略歴

- 1) 評価第一課長。
平成30年8月より現職。
- 2) 評価技術企画推進室長。
平成31年4月より現職。
- 3) 評価技術企画室課長補佐。
平成12年東京大学大学院農学生命科学研究科にて学位を取得。米国NIH、理化学研究所、国立医薬品食品衛生研究所において研究に従事後、平成29年10月より現職。

要旨

食品安全委員会（食安委）は、平成15年の設立以来、国際的に合意されたリスクアナリシスの考え方に基づき、食品に含まれる化学物質や食中毒原因微生物等が人の健康に与えるリスクについて科学的に評価してきました（「食品健康影響評価」といいます）。食安委は、科学技術の発展に応じ、より科学的に妥当性の高い食品健康影響評価の実施を常に目指しており、平成27年4月には、新しい評価方法・技術活用の企画・立案を担当する評価技術企画室を事務局内に設置しています。本講演では、食安委の概要と評価技術企画室の取り組みについて紹介するとともに、食安委が食品健康影響評価の推進のため実施している提案公募型の委託研究事業について説明します。

日時

2019年11月27日（水）

16：00～17：30

国立医薬品食品衛生研究所 2階 共用会議室

【お問い合わせ先】 国立医薬品食品衛生研究所 安全性予測評価部 広瀬 明彦
電話：内線3100 メール：hirose@nihs.go.jp